

我等松若

題字は

初代監督 松島正吉先生

H.8.1. Vol.8-1

第14号

第46回全国高校駅伝大会御礼と御報告

■陸上部後援会

会長 鈴木 章介
(7回卒)



皆様益々ご清栄のこととお慶びいたします。
先般行われました全国高校駅伝大会におきましては、絶大なるご支援とご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年こそは上位入賞と選手・監督・応援団一丸となって京都に乗り込みましたが、1区古田の日本人区間新記録、2区村松の静岡県として27年ぶり2人目の区間賞と、輝かしい記録を残し、昨年を上回る記録で走りましたが、12位という結果でありました。

来期に向け監督・選手は早くも始動し、毎日の練習を頑張っており、有望な1・2年生も多く、期待できます。

今後、後援会も杉井先生の良き指導のもと、選手が各大会で実力を発揮し好成績を上げられるよう、側面から後援していきたいと思います。

皆様のご好意に今一度感謝と御礼を申し上げます、御報告と御礼の言葉と致します。

■陸上部父母の会

会長 佐野 誠



皆様におかれましては益々御清栄の事とお喜び申し上げます。日頃陸上部の活動に御理解御支援を頂き厚くお礼申し上げます。

今年度につきましては、高校総体、並びに全国駅伝大会と絶大なる御支援を頂き重ねてお礼申し上げます。

御支援のかいあり、全国総体優勝、見事V4を達成、陸上浜商の名を全国に轟かす事が出来ました。また駅伝大会に於ても古田君、村松君の活躍により堂々12位となりました。しかし、選手諸君は入賞を目標とした大会だけに悔しさもあったと思います。それをバネに来期に向け練習に励み、来期は皆様の期待に添える様、頑張ってくれると思います。

我々父母の会も全力で応援してまいりますので、今後も御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。

第46回 全国高校駅伝大特集

■陸上部監督

杉井 将彦

(第34回卒)



希望にあふれる新年を迎え、皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は浜松商業陸上競技部に多大なる御支援・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月24日京都で行われました、第46回全国高校駅伝競走大会に、本校陸上競技部が3年連続13回目の出場をしました。今大会はエース古田を中心に村松・河合・藤本と、全国大会経験者が4人と、期待できるチームでありました。

12時30分西京極陸上競技場をスタートし、1区古田哲弘は前半から積極的に仙台育英ギタヒを追い、5kmを14分31秒で通過。ギタヒに次いで区間2位でした。しかし、タイム的には29分15秒と日本人最高タイムを大幅に更新しました。(過去最高は渡辺

康幸の29分34秒)2区村松寛久も前半から積極的に走り、静岡県勢としては27年ぶりの区間賞の力走を見せ、トップを走る仙台育英から1分10秒差で3区藤本和也にタスキを渡しました。3区藤本和也が6位でタスキを4区河合恵太に。河合が10位で5区川手秀祐へとタスキを渡しました。その1年生川手が頑張り順位を1つ上げ、9位で6区3年生加藤桂一へとタスキを継ぎました。大試合が初めての加藤も力を出しきり区間15位と頑張りました。最終的に7区金原良征が2時間8分53秒の12位でのゴールとなりました。目標の2時間7分30秒は届きませんでしたが、精一杯タスキを継ぎ切ったこの結果が、今のチーム力と素直に受け止めております。

4月からは、古田・村松が卒業し、新チームとなります。今回走った1、2年生全員が大きく成長し、1区候補が何人も出るようにこの冬にまた頑張りたいと考えます。また今年も、全国高校駅伝出場を目指し、頑張っていきたいと考えていますので、これからも宜しく御指導・御鞭撻の程をお願い申し上げます。

男子全国高校駅伝成績

1995年12月24日 京都府西京極競技場付設マラソンコース 7区間42.195km

上段=通算成績 下段=区間成績 ●=区間新

学校名	区間	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8.1075km)	4区 (8.0875km)	5区 (3km)	6区 (5km)	7区 (5km)	総合成績 (42.195km)
①西脇工 (兵庫)	前田 泰秀③ [3] 29.21	奥田真一郎① [3] 38.26 (44) 9.05	黒田 豊和③ [2] 1.02.53 (1) 24.27	岡田 展彦③ [2] 1.26.33 (1) 23.40	岸本 巧次③ [1] 1.35.22 (1) 8.49	佐藤 重俊③ [1] 1.50.34 (5) 15.12	角友 俊博③ [1] 2.05.20 (4) 14.46	2. 0 5. 2 0	
②田村 (福島)	小川 博之② [4] 29.57	中村 明弘② [5] 38.37 (15) 8.40	鈴木 直人③ [5] 1.03.41 (15) 25.04	大内 一③ [4] 1.27.52 (3) 24.11	吉田 和① [4] 1.37.01 (17) 9.09	桑原 芳寿③ [4] 1.52.13 (5) 15.12	大槻 圭一② [2] 2.06.52 (1) 14.39	2. 0 6. 5 2	
③大牟田 (福岡)	村上 健② [10] 30.11	角田 達彦① [7] 38.43 (5) 8.32	矢野 敦嗣③ [3] 1.03.18 (2) 24.35	徳永 勝③ [3] 1.27.25 (2) 24.07	宮原 崇人① [3] 1.36.34 (17) 9.09	竹下 真台② [3] 1.52.10 (25) 15.36	松田 強太③ [3] 2.06.53 (3) 14.43	2. 0 6. 5 3	
④仙台育英 (宮城)	ジャリタ・ファ② [1] ●27.48	高橋 達也② [1] 36.32 (23) 8.44	武田 幸也② [1] 1.01.23 (7) 24.51	大宮 英紀② [1] 1.26.24 (24) 25.01	菅原栄太郎② [2] 1.35.24 (5) 9.00	大槻 哲也② [2] 1.51.17 (39) 15.53	笹 敦史② [4] 2.07.03 (40) 15.46	2. 0 7. 0 3	
⑤徳島東工 (徳島)	宮原 充普③ [21] 30.52	加藤 泰丈③ [5] 39.24 (5) 8.32	安藝 雄三③ [5] 1.04.12 (5) 24.48	尾池 政利② [11] 1.04.12 (4) 24.17	日裏 竜太② [6] 1.37.40 (22) 9.11	西沢 輝② [6] 1.53.16 (25) 15.36	福原 博充① [7] 2.08.20 (9) 15.04	2. 0 8. 2 0	
⑥国学院久我山 (東京)	小川 智③ [8] 30.07	奈良沢 徹② [8] 38.43 (8) 8.36	笹尾 仁輝③ [9] 1.04.04 (22) 25.21	下茶 徳和③ [6] 1.28.34 (7) 24.30	中村 光仁③ [7] 1.37.40 (13) 9.06	上嶋秀太郎③ [6] 1.53.07 (17) 15.27	池袋 雄樹③ [6] 2.08.22 (19) 15.15	2. 0 8. 2 2	
⑦白石 (佐賀)	田中 伸一② [15] 30.28	光岡 健一② [11] 39.05 (10) 8.37	野崎 洋平② [8] 1.04.03 (10) 24.58	狩峰 安延① [7] 1.28.34 (9) 24.31	今泉 信明③ [5] 1.37.37 (7) 9.03	宮崎 圭介② [5] 1.53.06 (18) 15.29	吉原 一徳① [7] 2.08.30 (32) 15.24	2. 0 8. 3 0	
⑧埼玉栄 (埼玉)	神山 洋一③ [14] 30.28	大川 修一② [12] 39.11 (22) 8.43	石川 実③ [13] 1.04.14 (13) 25.03	酒井 隼人③ [9] 1.28.47 (10) 24.33	永野 博文② [8] 1.37.59 (25) 9.12	高橋 優気③ [8] 1.53.18 (9) 15.19	小川 直也② [8] 2.08.35 (23) 15.17	2. 0 8. 3 5	
⑨水口東 (滋賀)	山崎 成仁② [27] 31.01	新保 嘉一① [25] 39.39 (12) 8.38	斉藤 寿人③ [16] 1.04.25 (3) 24.46	大野 喜彦③ [11] 1.29.03 (14) 24.38	大角 重人② [15] 1.38.19 (33) 9.16	平子 英明③ [9] 1.53.31 (5) 15.12	井口 英明③ [9] 2.08.41 (14) 15.10	2. 0 8. 4 1	
⑩上野工 (三重)	山岡 謙二③ [5] 29.57	澤野 啓之② [10] 38.47 (33) 8.50	山口 広之③ [10] 1.04.07 (21) 25.20	町野 走一③ [14] 1.29.05 (22) 24.58	西 寿史② [12] 1.38.09 (8) 9.04	田畑 義博③ [10] 1.53.31 (12) 15.22	植松 雄樹② [10] 2.08.41 (14) 15.10	2. 0 8. 4 1	
⑪上伊那農 (長野)	藤沢 一茂③ [13] 30.27	松下 伸太③ [12] 39.07 (15) 8.40	井ノ口直衛③ [20] 1.04.39 (27) 25.32	富永 紀国③ [18] 1.29.23 (14) 24.44	丸山 光昭③ [16] 1.38.25 (6) 9.02	滝沢 貴之③ [12] 1.53.33 (2) 15.08	宮下 宏之② [11] 2.08.48 (19) 15.15	2. 0 8. 4 8	
⑫浜松商 (静岡)	古田 哲弘① [2] 29.15	村松 寛久③ [2] 37.42 (1) 8.27	藤本 和也② [6] 1.03.53 (43) 26.11	河合 恵太② [10] 1.28.57 (26) 25.04	川手 秀祐① [9] 1.38.06 (17) 9.09	加藤 桂一③ [11] 1.53.32 (15) 15.26	金原 良征① [12] 2.08.53 (29) 15.21	2. 0 8. 5 3	

古田走
激

日本人最高記録



2区村松
浜商初の区間賞

浜商エース
28分台届かず
「情けないです」

○：浜松商のエース古田哲弘（三年）が一区で29分15秒をマークし、日本人のベストタイムを塗り替えた。区間2位の力走には「満足しています。うれしい」。しかし、表情は曇っていた。日本人の1位で、28分台という目標を達成したかったからだ。

浜松商・古田（右）は29分15秒と快走を見せ、2位で第2走者村松にたすきをつなぐ
—京都市烏丸鞍馬口の第1中継所

と臨んだレース。県大会で29分7秒を出していただけに、周囲の期待も大きかった。しかし、相手は想像よりはるかに速く、古田の背中にはみるみる小さな穴が開いていく。「こんなに速つていく。とにかく驚いた。2*で（ついで）いくのを、あきうめてしまった」と、驚異的な走りには舌を巻くばかり。動揺がフォームを崩し、疲れを増長させてしまった。

巻き返しを図った後半は「体のしほりが足りなくて」自分のペースがつかめずに終わった。「28分を切るなんて、口だけで終わってしまつて後輩に示しがつかない。情けないです」。今回の走り振り返り「いろいろ勉強になった」。ことを踏まえて一月の全国都道府県駅伝で区間賞を取ることを目標を定め直した。

○：浜松商の二本柱の一人、村松寛久（三年）が2区（3*）で区間賞を手にした。だが、8分27秒のタイムには「区間1位といつてもこの記録では」と、笑顔を見せた。

1区古田から1分27秒差の2位でたすきを受けた。大差がつき、視界に目標とする走者がなかったため、男子の高校駅伝は七人がたすきをつなぐ。頭数が増える分、誤算の確率も高まる。ところが、杉井監督は「（七人で走るから）もっと力が出せるはず」と総力戦の大切さを強調する。それだけに「チャンスはありました。（2時間）7分30秒は出してもおかしくなかった」と、指摘した。

走りにくかったという。それでもトップの仙台育英との差を7秒縮めて、区間賞を獲得。これは「久々に村松のいい走りを見た」と杉井監督も評価した。しかし、本人は「チームの成績も良くなかったし、個人よりチームの成績の方が大切」と、最後まで表情は晴れなかった。

杉井監督、無念の表情
○：「ちょっと、いや、ちょっとではない。不満です」浜松商の杉井監督は無念の表情で、レースを総括した。

1区古田は「古田（宮城・仙台育英）の快走に遭つて影が薄くなった感はあるものの、日本人区間新」をマークし、2区の村松も区間1位を記録した。大物コンビは顔面通りの結果を残したが、後が続かずじりじりと順位を落とした。

都大路の勇者達



1区 古田 哲弘

3年 竜洋中

今回の駅伝は自分にとって良い経験だった。今後の目標が決まった。これからは後輩達を見守っていきたい。



6区 加藤 桂一

3年 初倉中

初めての全国大会だった。とてもよい経験になった。もっと自分の力を出し切りたかった。



2区 村松 寛久

3年 吉田中

チームとしての成果が求められた駅伝で結果が出せなくて残念だった。個人としては区間賞だったが記録に満足できず、力のなさを実感させられた。



7区 金原 良征

1年 浅羽中

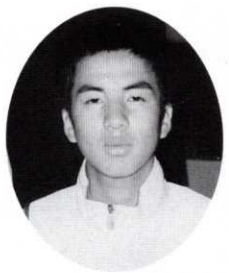
全力を出し切れた。来年はもっと力をつけて都大路を走りたい。



3区 藤本 和也

2年 高台中

今年の駅伝はとても辛い経験をしたが、とても大きなエネルギーをもらったと思い、来年は頑張りたい。



補欠 鈴井 憲司

2年 雄踏中

今年の全国駅伝は選手として走る事ができなかった。来年は自分が走れるように頑張りたい。



4区 河合 恵太

2年 舞阪中

力を出し切れなかった。今年の経験をいかし来年は頑張ります。



補欠 落合 節夫

2年 初倉中

これからもっと力をつけて、来年は走れるように頑張ります。



5区 川手 秀祐

1年 豊田南中

自分の走りができたと思う。しかし全国のレベルの高さを改めて思い知らされた。



補欠 塚崎 隼人

1年 浅羽中

全国大会では走れなくてくやしい思いをしたので、来年はどうしても走れるような記録を残したい。

京都駅伝紀行パートⅢ

県大会前より宿舎の手配は順調に進み、“吉例”となった我等の駅伝紀行!!さて今回はどんなレースが展開されるのか??熱い期待で望んだ京都西京極から……。

先行した仙台育英を総合力で上回る西脇工が追う展開となった今大会。1区のギタヒはスタートより飛ばし、区間記録を1分9秒も更新する驚異的なタイムで、我らがホープ“古田”に1分27秒の大差をつけた。2区は村松が激走の区間賞(8分27秒)の走りを見せ、3区の藤本にタスキリレー。(この時点では、もしかすると……!。ひょっとすると……!と我々の期待は最高に高まった。)白川通りの3K地点(銀閣寺横)まではまずまずの走りであったが後半ペースが上がらず順位を下げた。4区河合、5区川手、6区加藤、7区金原へと入賞の望みを託したがおしくも12位にとど



前列左より鈴木教頭、森氏、松田氏、佐野氏
後列左より川瀬氏、大野校長、豊田氏

まった。しかし、今大会も、我々県民、又全国の駅伝ファンに HC のマークを強烈に印象づけ、一昨年の準優勝の時同様、静岡に“浜商あり”を高らかに誇示することができたと思う。来年も是非、都大路を駆け抜けてほしいものである。

(6回卒 松田恒)

参照記録

日本人ベストタイム(1区)

46回 古田哲弘(浜松商)29'15"
26回 西村義弘(鴨崎工)29'29"
42回 渡辺康幸(市立船橋)29'34"

静岡県選手の区間賞

19回 犬塚時吉(磐田農)30'20"(1区)
46回 村松寛久(浜松商)8'27"(2区)

静岡県チームベストタイム

44回 浜松商 2.06'37"(2位)
46回 〃 2.08'53"(12位)
45回 〃 2.08'57"(18位)

バス3台の大応援団

昨年に続き今年もバス3台をチャーターし、4時30分に浜商をスタート。都大路へ向かう。

車中恒例となった河村副会長の応援案内に始まり、杉山解説委員の展望を聞き、期待に胸を弾ませ西京極へ!!

12時30分スタート。各自思い思いの場所で声援を送り、選手達を励ます。その声を受けて頑張る選手達。結果、無念の12位。浜商初の区間賞を取

った村松君に拍手を送る為、全員閉会式に臨む。

17時西京極をたち、一路浜商へ。バスの中では選手への賞賛とねぎらいの声が飛び交った。初めて生で駅伝を観戦した人達は一様に感動し、次の参加を願っていた。関ヶ原では雪も降り始め、クリスマスイヴと浜商の健闘を祝っているようであった。

車中にて 一応援団

ご支援・ご声援ありがとうございました

株式会社ユタカ技研

浜松市豊町508-1

スズキ株式会社

浜松市高塚町300

中部ガス株式会社 浜松支店

浜松市西塚町200番地
取締役支店長 松井功雄

ガステックサービス 株式会社

浜松市倉松町4016番地
浜松南支店 支店長 芥川淳

各種産業廃棄物の処理 株式会社 太洋サービス

〒431-02 浜松市篠原町9254-2
TEL<053>447-4640(代)
FAX<053>449-1029

内山隆司会計事務所

浜松市元城町113-15
TEL<053>455-2181(代)

収支報告

寄付金	5,078,648	助成金	2,500,000
		応援費用	889,583
		壮行会費用	57,623
		印刷郵送費	250,000
		雑費	150,000
		記念品代	300,000
		繰越金	931,442
計	5,078,648	計	5,078,648